

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和5年6月27日</p> <p>栃木県知事 福田 富一 様</p> <p>提出者 住 所 東京都墨田区緑一丁目4番19号 氏 名 リバー株式会社 代表取締役 松岡直人 電話番号 0287-29-2777</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	リバー株式会社 那須事業所
事業場の所在地	栃木県大田原市下石上1505-11
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	非鉄金属スクラップ卸売業[5363]
②事業の規模	売上高11,065百万円(2022年3月期)
③従業員数	42名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項														
<p>(管理体制図)</p> <table border="1"><tr><td>統括責任者：代表取締役</td><td colspan="2">廃棄物処理計画の策定/廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認/発生抑制・再生利用・適正処理などの必要事項の検討</td></tr><tr><td>法務室</td><td colspan="2">委託契約の締結/処理業者の調査・選定及び管理</td></tr><tr><td>管理及び出荷責任者：営業職</td><td colspan="2">廃棄物管理状況の把握/廃棄物処理施設の運転管理/廃棄物処理施設の維持管理状況の把握/排出量管理 委託先・出荷手配/社員ほか取引先等への教育及び啓発</td></tr><tr><td>事務処理担当</td><td colspan="2">産業廃棄物管理票の交付/管理・監督官庁への各種報告</td></tr></table>			統括責任者：代表取締役	廃棄物処理計画の策定/廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認/発生抑制・再生利用・適正処理などの必要事項の検討		法務室	委託契約の締結/処理業者の調査・選定及び管理		管理及び出荷責任者：営業職	廃棄物管理状況の把握/廃棄物処理施設の運転管理/廃棄物処理施設の維持管理状況の把握/排出量管理 委託先・出荷手配/社員ほか取引先等への教育及び啓発		事務処理担当	産業廃棄物管理票の交付/管理・監督官庁への各種報告	
統括責任者：代表取締役	廃棄物処理計画の策定/廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認/発生抑制・再生利用・適正処理などの必要事項の検討													
法務室	委託契約の締結/処理業者の調査・選定及び管理													
管理及び出荷責任者：営業職	廃棄物管理状況の把握/廃棄物処理施設の運転管理/廃棄物処理施設の維持管理状況の把握/排出量管理 委託先・出荷手配/社員ほか取引先等への教育及び啓発													
事務処理担当	産業廃棄物管理票の交付/管理・監督官庁への各種報告													
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項														
①現状	【前年度（令和4年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり												
	排出量	別紙2のとおり t												
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり													
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり												
	排出量	別紙2のとおり t												
	(今後実施する予定の取組) 別紙3のとおり													
産業廃棄物の分別に関する事項【該当なし】														
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)													
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)													

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項【該当なし】			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項【該当なし】			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

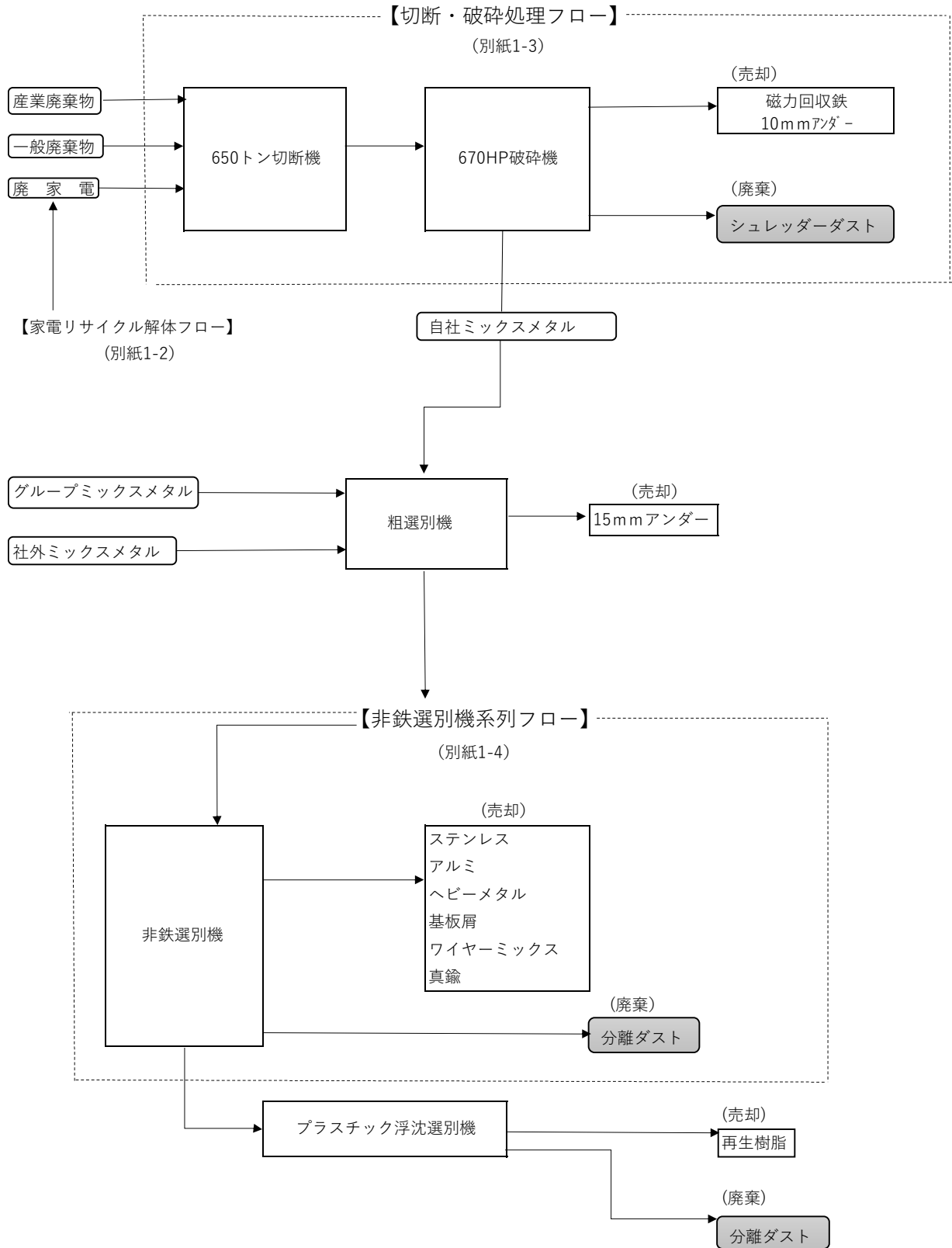
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項【該当なし】			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項【別紙2のとおり】			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	全処理委託量	別紙2のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙3のとおり		

②計画	【目標】【別紙2のとおり】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3のとおり		
※事務処理欄			

備考

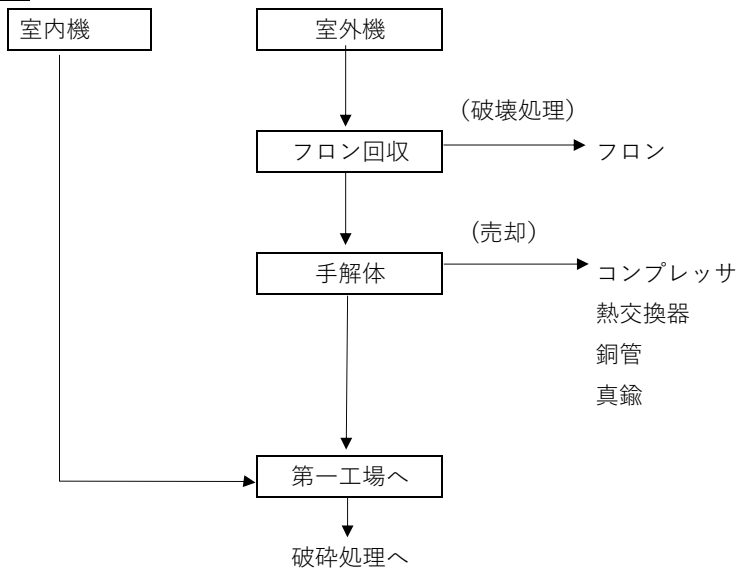
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

《那須事業所の廃棄物処理システム》

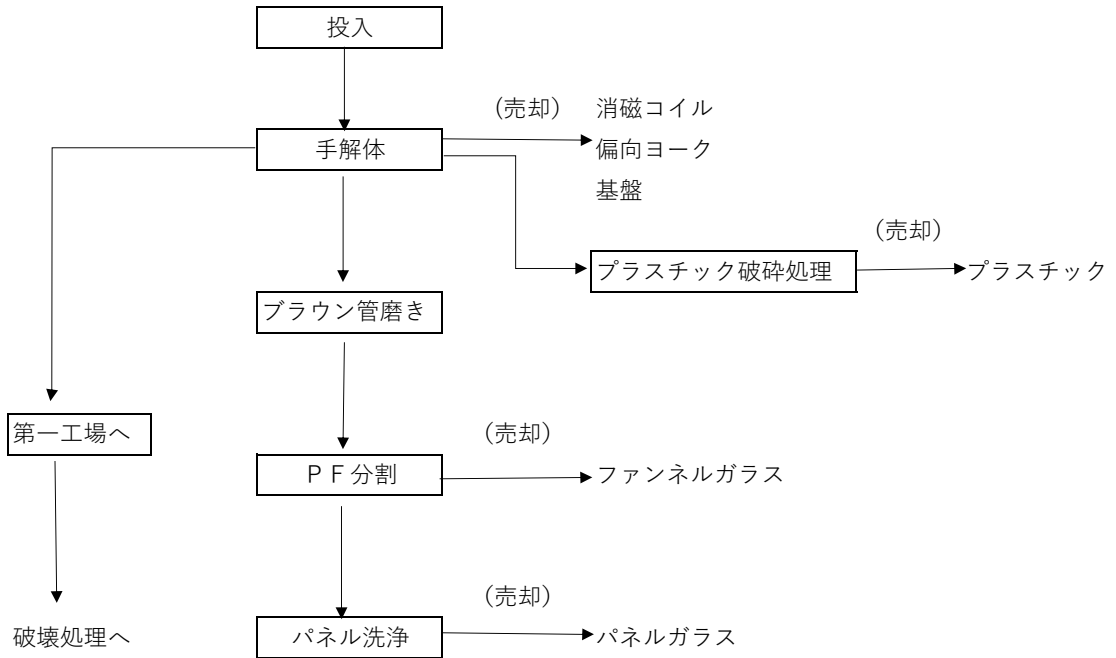


家電リサイクル・解体フロー図

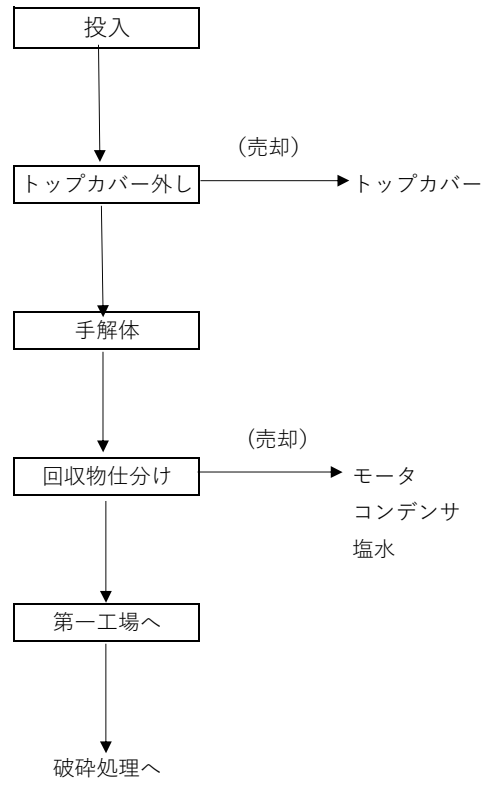
ACライン



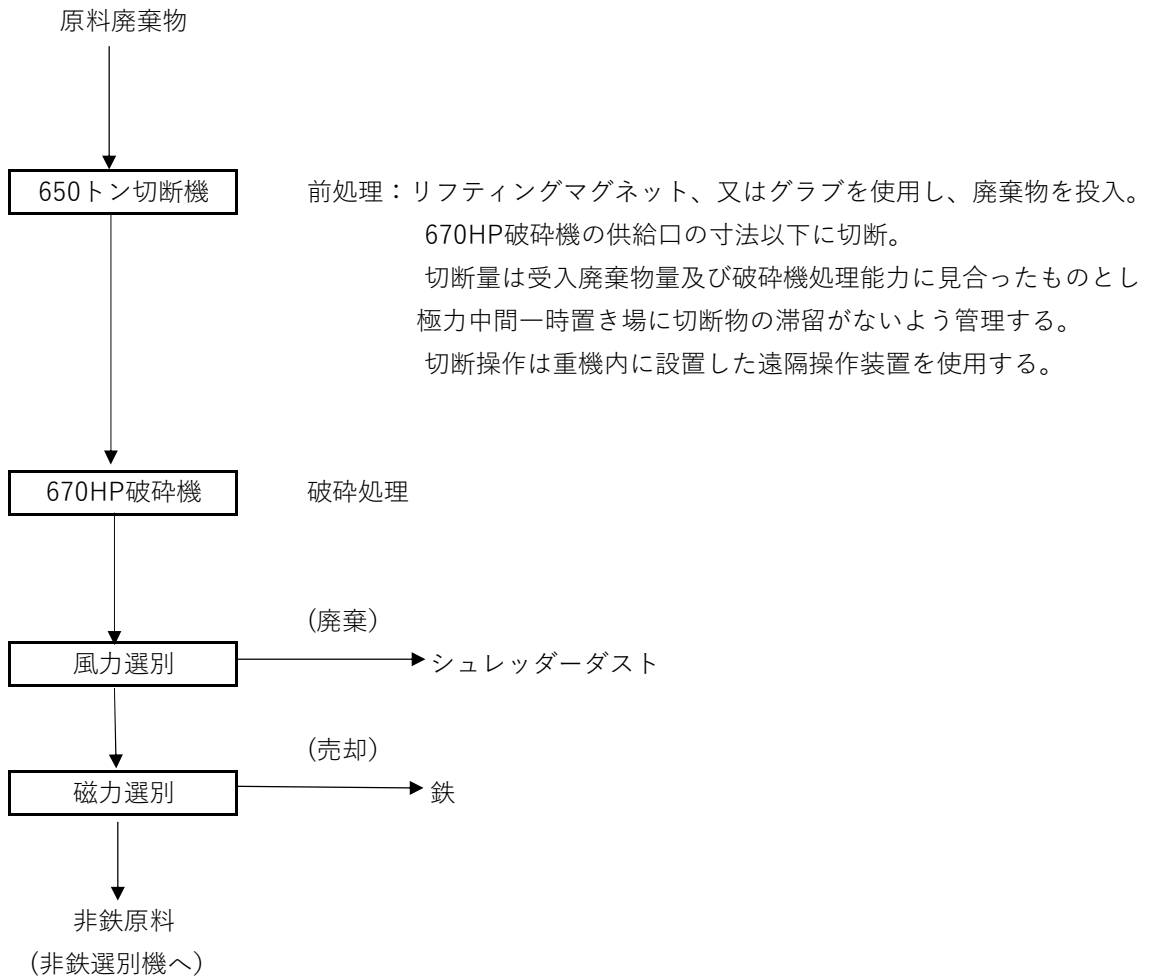
TVライン



洗濯機ライン

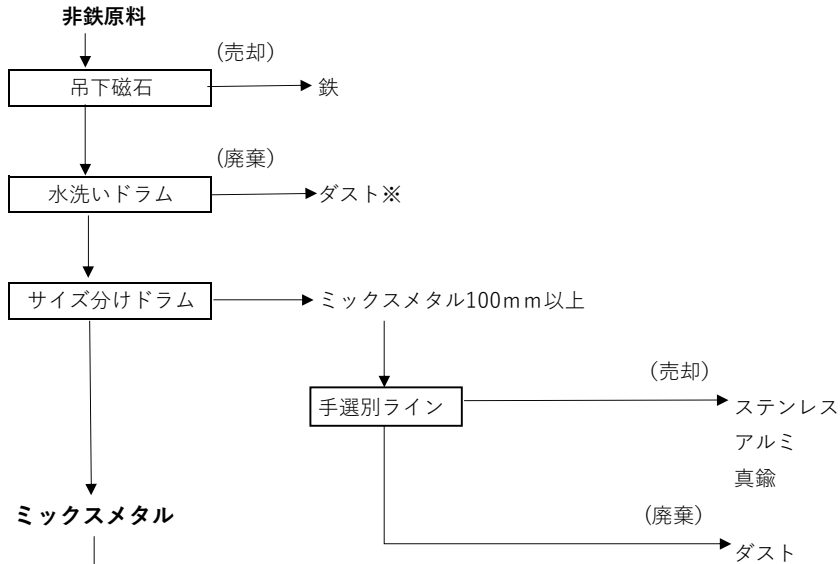


切断・破碎処理フロー図

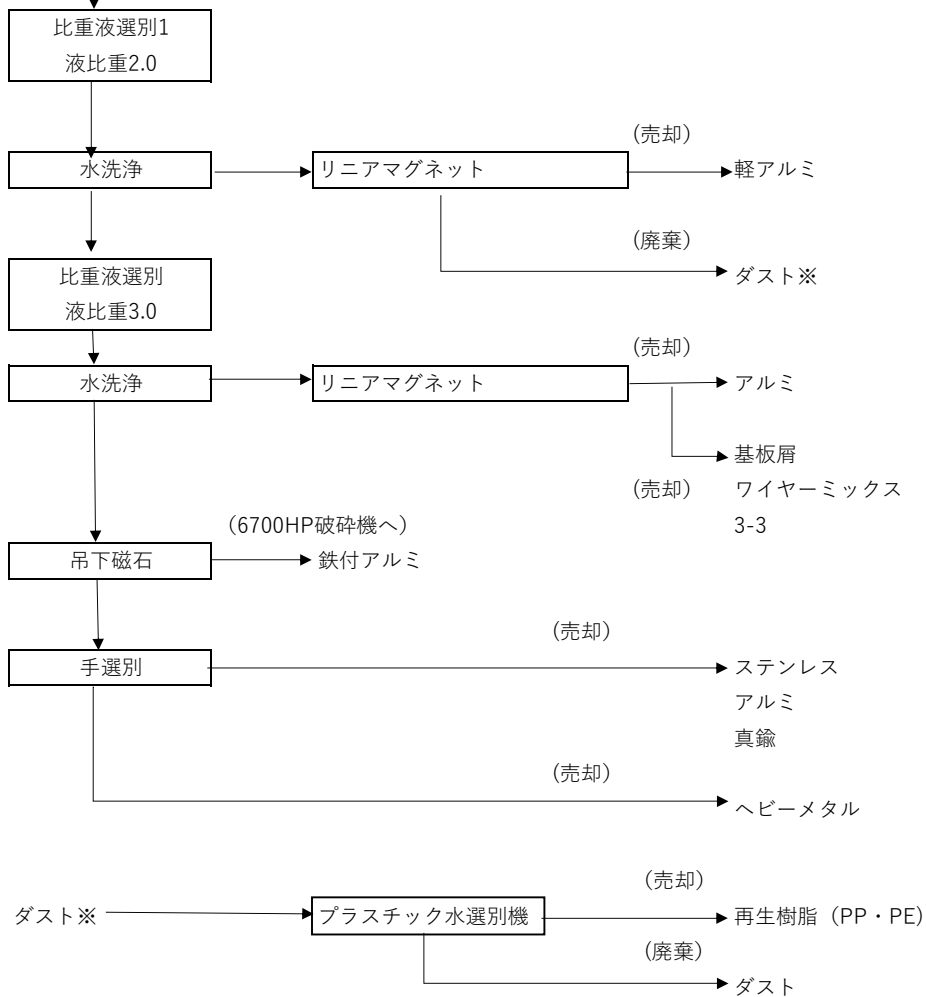


非鉄選別機系列フロー図

ウォッシング工程



比重液選別工程



R4年度実績値及びR5年度目標値

廃棄物の種類及び実績、目標の別 排出・処理の区分	廃プラスチック類		汚泥		廃アルカリ		水銀使用製品産業廃棄物 (金属くず・廃プラスチック類・ガラスくず)		木くず		安定型混合廃棄物 (金属くず・廃プラスチック類 (コンデンサ))		ガラスくず (液晶ガラス ファンネルカレット)	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	10,960.79	10,000.00	31.20	30.00	0.00	0.00	1.13	1.0	1.57	0.00	0.00	10.0	30.48	30.00
自己再生利用量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.00	0.00
自己熱回収量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.00	0.00
自己中間処理減量化量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.00	0.00
自己埋立処分又は海洋投入書分量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.00	0.00
全処理委託量	10,960.79	10,000.00	31.20	30.00	0.00	0.00	1.13	1.0	1.57	0.00	0.00	10.0	30.48	30.00
優良認定処理業者への処理委託量	3,301.96	5,000.00	31.20	30.00	0.00	0.00	1.13	1.0	1.57	0.00	0.00	10.0	0.00	0.00
再生利用業者への処理委託量	154.71	200.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	0.0	1.57	0.00	0.00	10.0	0.00	0.00
認定熱回収業者への処理委託量	1,160.26	3,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	0.0	0.00	0.00	0.00	0.0	9.40	10.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6,687.09	5,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	10.0	21.08	20.00

別紙3

〈産業廃棄物の排出の抑制に関する事項〉

	これまでに実施した取り組み	今後実施する予定の取り組み
廃プラスチック類	<ul style="list-style-type: none"> ・金属回収は従来の選別設備を使用し、資源回収を行った。 ・金属以外の資源は樹脂選別設備を更新し、回収量を増量させている。 	安定した設備稼働を行い、再生樹脂の回収を継続する。
汚泥	—	—
廃アルカリ	—	—
金属くず・ガラスくず	—	—
金属くず・廃プラスチック類	—	—
ガラスくず	—	—

〈産業廃棄物の処理の委託に関する事項〉

	これまでに実施した取り組み	今後実施する予定の取り組み
廃プラスチック類	管理型埋立への委託の割合を徐々に減らし、熱回収での再利用を主とする焼却施設への委託に移行している。	熱回収の焼却に加えてセメント会社や固定燃料など処理の多様化を図る。
汚泥	—	—
廃アルカリ	—	—
金属くず・ガラスくず	—	—
金属くず・廃プラスチック類	—	—
ガラスくず	—	—